

# 遺伝子組換え作物に関するワークショップ プログラム

## ○ 目的

遺伝子組換え作物については、日本では商業栽培されていませんが、世界的には年々栽培面積が増加し、日本にもとうもろこしや大豆などが相当量輸入され、食品や飼料の原料とされています。

道では、平成17年度に遺伝子組換え作物の栽培のルールを定めた条例(通称:GM条例)を施行しましたが、多くの道民は、遺伝子組換え食品・作物に対しては不安を感じている状況にあります。

このため、遺伝子組換え作物・食品等について理解を深めていただくとともに、今後の施策の参考とするために、参加者1人1人に議論していただき、また専門家等との意見交換等を行うワークショップを開催します。

○ 日時 平成21年1月31日(土) 10:00~16:00

○ 会場 道庁赤れんが庁舎 2階1号会議室

9:40 参加者受付開始

## 10:00~10:10 開会・趣旨説明など

---

10:00~10:03 道農政部 竹林食の安全推進局長開会あいさつ  
10:03~10:10 趣旨、スケジュール等説明

## 10:10~12:00 講演

---

10:10~11:00 食品の安全性について  
北海道大学教授 一色 賢司 氏  
11:00~11:30 遺伝子組換え食品の安全性審査について  
前 食品安全委員会事務局次長  
農業・食品産業技術総合研究機構  
食品総合研究所研究統括 日野 明寛 氏  
11:30~12:00 遺伝子組換え作物をめぐる情勢について  
北海道農政部食品政策課長 小野塚 修一

(12:00~13:00 午後の説明、昼食)

## 13:00～14:15 参加者によるグループ討議（ワークショップ）

---

グループ討議の目的や進め方について説明

各グループに分かれグループ討議

- ・ ファシリテーター及び補佐の紹介、説明
- ・ 意見等の記入、付箋の貼りだし
- ・ 参加者の意見発表及び意見・質問のグループ化、整理

(14:15～14:35 休憩)

## 14:35～15:55 意見・質問に対する回答及び意見交換

---

コーディネーター： 三上 直之氏 (北海道大学准教授)

コメンテーター： 大塚 善樹氏 (武蔵工業大学准教授)

富塚 とも子氏 (主婦・さっぽろ食まちネット代表)

日野 明寛氏 前 食品安全委員会事務局次長

農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所研究統括)

瀬川 雅裕氏 (農林水産省技術会議事務局技術政策課技術安全室長)

小野塚 修一 (北海道農政部食品政策課長)

1. ファシリテーター代表からワークショップでの主な意見・質問を紹介
  2. 1人5分程度でコメンテーターからコメント
  3. テーマ毎に参加者から質問・意見
  4. コメンテーターからの回答
- \* 各テーマごとに3.4. を繰り返す

## 15:55～16:00 閉会

---

### 資料一覧

〈講演資料〉

食品の安全性について

GM食品の安全性審査について

遺伝子組換え作物をめぐる情勢について

〈参考資料〉

コンセンサス会議市民提案

北海道農業・農村の現状と課題

遺伝子組換え農作物入門プログラム (Do you know?)

遺伝子組換え農作物を知るために (Step Up)

バイテク小事典